



日本小唄連盟
大演奏会

主催 公益社団法人 日本小唄連盟
後援 公益財団法人 日本伝統文化振興財団

令和七年十月十二日(日)
十時半開場・十一時開演
三越劇場

第六十八回

日本小唄連盟大演奏会

令和七年十月十二日（日）

十時半開場・十一時開演

三越劇場

主催 公益社団法人 日本小唄連盟

御挨拶

本日は第68回大演奏会にご来場頂き、厚く御礼申し上げます。

この夏も近年を更新する酷暑の日々に皆様さぞかしお疲れになられた事とご推察申し上げます。そして季節はまさに秋の夜長を楽しむには恰好の小唄日和となりました。小唄連盟を構成する各ご流派も昨今は代替わりが顕著となり、プログラムにも次代を担う新しい顔ぶれが見えますことは何にも増して喜ばしい事と思います。

加えて本年は江戸時代がテーマとなったドラマ「べらぼう」、歌舞伎の世界に視点が置かれた映画「国宝」等が衆目を集め、そのどれもが江戸小唄にも関連があり、宣伝効果となりましたことも幸いであつたと思われます。

本日はそうした側面も合わせてどうぞ最後までお楽しみ下さいます様お願い申し上げます。

令和七年十月吉日

公益社団法人 日本小唄連盟

会長 春竹 利昭

ご祝儀

花

筏

替	系	唄
長生 千代由	松風 裕乃	松峰 弥生乃
小唄 幸三希	井筒 幸一	千紫 巳恵佳
田村 花枝		蓼史ま由

組

1
裏 初
の
背
戸
や 秋

系	唄
千	千
紫	紫
已	章
恵	花
佳	

江戸まつり

唄	糸	ヰ
土	土	土
川	川	川
きく丸	きく	菊太郎

3 弁 天 小 僧

唄	糸	替
蓼	蓼	蓼
実	史	実
乃	実	志
豊		

4
山中しぐれ

唄	糸	替
長	長	長
生	生	生
千代栄	松代	千代由

5 仇情八幡祭

系	唄
錦	錦
乃	乃
ま	太
い	香音

6
深山里んどう
よりを戻して

系	唄
永	永
井	井
ひ	ひ
ろ	ろ
子	世

7
三
吉
野

系	唄
本	本
木	木
寿	寿以裕
以	

8 河 太 郎

系	唄
春	春
竹	竹
利	利
保	央

9 吉原や

系	唄
扇	扇
和	和
弓	千香

10
仇
情
け

上	系	唄
ふじ松	ふじ松	ふじ松
加奈富士	加奈子	美はる

11
は 露
ん は
な り
と 花

系	唄
小	小
唄	唄
幸三卯	幸三江

だるまさん
あごでしらせて

替	糸	唄
松	松	松
峰	峰	峰
弥		小
生		
乃	照	玉

13
宵 木
の 枯
口 ら
舌 し
の

系	唄
蓼	蓼
胡滿佳乃	胡滿佳世

14
蚊
や
り
香

系	唄
峰	峰
村	村
好	好
志	志
乃	藤

上野の鐘

唄
蓼

茂
毬
代

打ち水

唄
長
生
奈
美
呂

17
 紺 佃
 の ば
 前 や
 だ し
 れ

唄	唄
蓼	蓼
糸	糸
鈴緒	鈴緒
音	音

18
ひとりごと

唄
松
風
裕
勝

上
汐

唄
不
二
小
綾

待った待った

貝
竹
付
て
る
突

系
不
二
小
り
ん

20 長崎
ブルブル

替	系
竹	竹
村	村
花	て
美	る
都	花

21
水 青
の 柳
深 の
さ 糸

上	系	唄
蓼	蓼	蓼
蒭	胡	利
少	満	まり
	利	

二人一緒に

上
參
清
汝

唄
若
宮
三
千
鷹

40	14時頃		39			38			37			36			35		
	関	の		青	い		萩	と		綱	渡		風	移		辰	お
	女			い									神	り		巳	ち
	夫			ガ									雷	香		い	こ
	松			ス									神	や		と	ち
				灯													
糸	唄		替	糸	唄		替	糸	唄	糸	唄	上	糸	唄	糸	唄	
長	長		井	井	井	竹	竹	竹	土	土	春	春	春	竹	竹	竹	
生	生		筒	筒	筒	村	村	村	川	川	竹	竹	竹	枝	枝	枝	
真	奈		幸	治	幸	花	てる	てる	き	菊	利	利	利	元	ゆ	き	
帆	美		一	幸	樹	美	花	千	く	太	芙	香	保	通	き	通	
	弘			滋		都	花	恵		朗	美						

46			45			44			43			42			41		
	櫓		せ	一		好	いた	お	う	色	ない	二	人	が	ま	満	
			か	声		二人	た	方	っ	気	と	た	の	仲	か	月	
			れ	は		連	た		かり	い	て	の			せ		
	下					れの	お		と	万		御			た		
						万	方			才		見			は		
替	糸	唄	糸	唄		糸	唄		糸	唄		糸	唄		糸	唄	
蓼	蓼	蓼	井	井		田	田		竹	竹		小	小		松	松	
			筒	筒		村	村		枝	枝		唄	唄		峰	峰	
実	史	史	綾	万		て	富		紋	せん		幸	幸		弥	照	
乃	実	櫻	奈	紗		る	美		寿	米		三	三		生	香	
豊			美	弥			香			ひろ		希	卯		乃		

28	13時頃		27			26			25			24			23		
	雲	秋		柳	橋		お	祭		七	福		好	き		浜	
	に	風		橋	か		祭	り					き	と		町	
	け	誘		から	ら		佐						と	好		河	
	橋	う		す			七				神		き	き		岸	
糸	唄		糸	唄		糸	唄		糸	唄		替	糸	唄	替	糸	唄
蓼	蓼		竹	竹		蓼	蓼		千	千		蓼	蓼	蓼	井	井	井
			枝	枝					紫	紫					筒	筒	筒
胡	胡		香	幸		鈴	輝		巳	由		胡	胡	胡	幸	治	幸
満	満		寿	香		緒	光		恵	美		葉	伊	葉	樹	幸	一
乃	里		々						佳	恵		菊	葉	冬		滋	

34			33			32			31			30			29		
	か	逢		切	梅		か	味		雪	隅		乙	仲		乙	仲
	ら	う		ら		ま	ま	田		あ	田		に	町		に	町
	く	て		れ		わ	わ	の		か	の		か	育		ら	育
	り	別		お		ぬ	ぬ	月		り	月		ら	ち		ん	ち
		れて		富									だ			だ	
糸	唄		替	糸	唄	替	糸	唄	糸	唄	替	糸	唄	糸	唄	糸	唄
千	千		蓼	蓼	蓼	田	田	田	蓼	蓼	松	松	松	新	新	新	新
紫	紫					村	村	村			峰	峰	峰	水	水	水	水
巴	三		実	史	実	弓	て	花	胡	胡	照	佳	照	千	豊	千	豊
奈	恵		上	実	生	路	る	枝	葉	葉	香	代	香	豊	ふ	じ	じ
恵			志						菊	隆							

64	日吉さん	唄 若宮三千恵美
63	白菊 いろは紅葉	唄 竹枝千雪
62	晩に忍ばば 売り言葉	唄 松風英美都
61	ジャガタラお春	唄 本木寿以
60	逢うは別れ 春風はほんとに罪な	唄 蓼史ま由
59	美代吉 佃流し	唄 蓼佳ほる

70	二年越し 座敷引けすぎ	唄 田家松小峰
69	武蔵野の 弓張月	唄 小唄幸三希
68	居合抜き	唄 竹錦乃まい
67	あの日から いつしかに	唄 新水千豊
66	明治は忘れぬ	唄 千紫巳恵佳
65	土手を通る 虫が好くのか	唄 井筒綾奈美

52	宵のなぞ	唄 蓼鈴美緒
51	うその固り 待てと云うなら	唄 竹枝元通
50	仙女香 仲なおり	唄 蓼胡葉祇
49	辰巳の左褰	唄 春竹利香
48	勢い肌	唄 蓼加津柳
47	呼子の女 ちよいと出るにも	唄 松峰弥生乃

58	紙治	唄 上蓼加津柳
57	今日も又	唄 土川きく
56	博多帯	唄 本木寿以
55	空ほのぐらき お互いに	唄 蓼満沙
54	獅子頭	唄 長生真帆
53	宵宮	唄 土川きく也

ご祝儀

世のさが

		唄	系		替
田家松	ふじ松	扇松峰	田村	土川	蓼村
小峰	加奈子	よし和照	てる	きく	鈴緒
					てる花

76	75	74	73	72	71
桂三日月川眉	好きと嫌いい	祭涙ぐりせ	窓の白むは	築地明石町	浮名も舟
替系唄 松松松 峰峰峰	系唄 扇扇	上系唄 長長長 生生生	替系唄 田田田 村村村	系唄 蓼土川	上系唄 ふじ松 加奈富士
弥生乃	和弓	千代栄	花枝	胡文雄	加奈子
照香照	よし和	松代	弓路る	きく	美はる

82	81	80	17時頃 79	78	77
仇な笑顔	わしがつたん	吉田屋	湯島情話	落人も見るかや 時雨して	仮名手本忠臣蔵
系唄 春竹 利香	替系唄 蓼蓼蓼 胡満佳乃	系唄 田田 毎毎 てる代	上系唄 峰峰峰 村村村	系唄 蓼蓼	系唄 不二 小みち
	満沙	てる三	多満葛	鈴緒	小りん
	胡満佳		好美佐	胡茂	

- 作詞、作曲者名は省略させていただきました。
- 番組通り進行いたしますので、出演者はお早めにご入場下さるようお願いいたします。
- 両床で進行いたします。

主催 公益社団法人 **日本小唄連盟**

東京都目黒区八雲一丁目十番六
カンプス二〇三

〒152-0023
電話 (〇三) 六四五九―五四六一

FAX (〇三) 六四五九―五四五八
日本小唄連盟ホームページ

<http://www.kouta-renmei.org>

後援 公益財団法人 **日本伝統文化振興財団**